

新聞の「朝パラ」提案

静岡理工科大で読み方講座



「教育に新聞を」

袋井市豊沢の静岡理工科大のキャリア開発講座「新聞を読む」が十日にあり、三年生約三百人が新聞の読み方や就活への活用法などを学んだ。

中日新聞東海本社の



「新聞を読む」の講義で新聞を手にする大学生ら＝袋井市の静岡理工科大で

池田実・経済部長ら二人が講師を務めた。学生らに、中部地方の企業百四十社のアンケートで、就職活動に効果的な情報媒体として74%が新聞を選んだことを挙げた。

池田部長は、人事担当者が「いろんな情報が網羅的に載っている新聞は情報収集の入り口」と指摘したことを強調。全部は読まなくてもパラパラと新聞を

斜め読みする「朝パラ」を提案した。その上で、「新聞をうのみにすることなく、自分の考え方や価値判断を養う材料にしてほしい」と話した。同じ講座は一、二年生対象にも行われる。